

## 水の都に住む人は(城北川の未来)

平成22年12月(2010)、城北川は70才になります。古稀を機に、可愛い子どもたちや孫のために、この川の未来を考え、新しい水の都を夢み、住みよいまちを提案することになりました。



■城北川完成イラスト(資料:大阪市建設局工営所)

## 城北川の水・川岸・上空にわけて、書いてみます。

まず城北川の水。

この川の始まりを取材しながら、「城北川で泳いだ」という話を聞きました。

次の世代、次々時代の子どもたちの遊泳場や河川公園になるよう、アクア技術やバイオ技術を駆使して清流をつくり、泳げる川の提案です。

城北川の左右両岸をなんども歩いてみましたが、一部の遊歩道は暗く、汚れた道に遭遇しました。とくに旭区右岸は、レンガ舗装が遅れているだけでなく、自転車が遊歩道に放置、大型ゴミやポイ捨てゴミもありました。

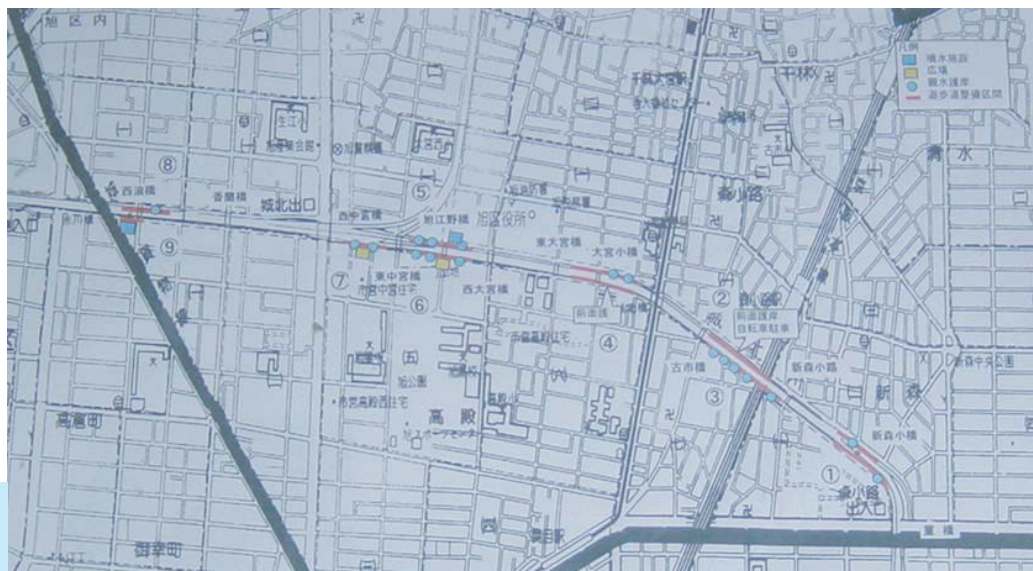
城東区の「城北川愛護運動」のお話を聞きました。

区民1人ひとりが、美しく、1級河川としてブランド・リバーづくりに懸命です。菜の花や桜の木の植樹、青少年の河川クルーズ、3月早春には「城北川フェスティバル」の開催です。”ホテルのとびかう川にしよう”と、みんなて話し合っているそうです。

城北川の川岸は、18カ所の親水護岸があります。

(平成21年10月現在)

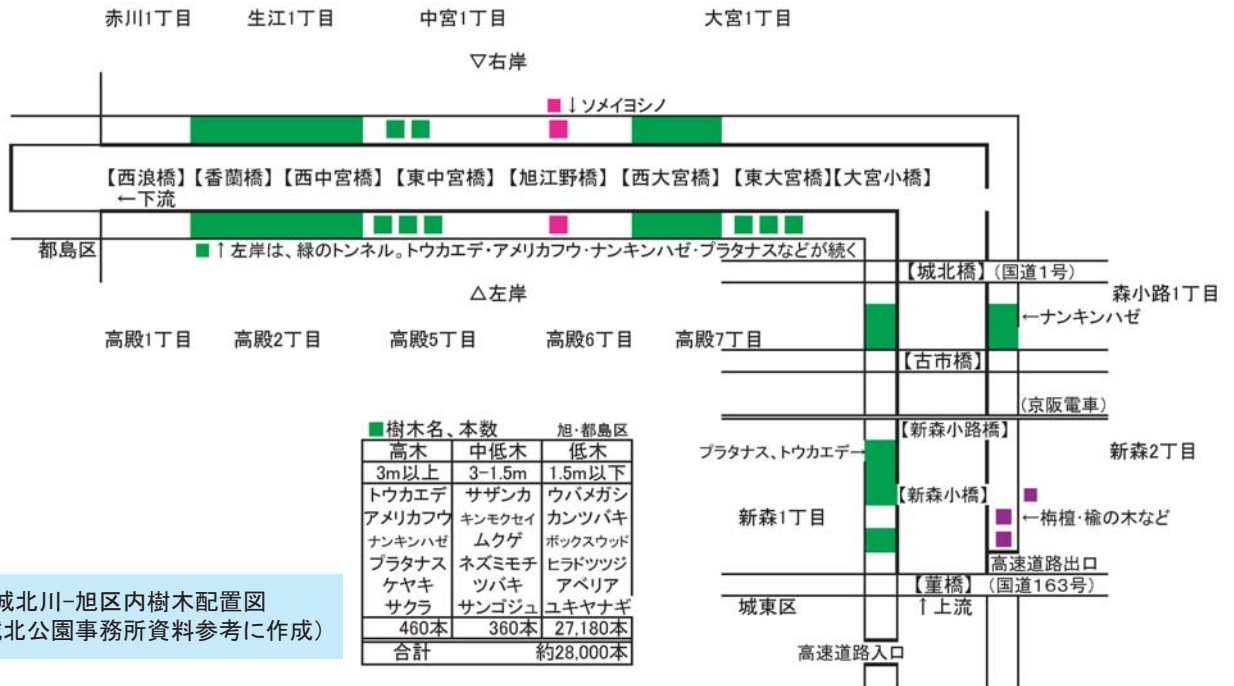
大阪市建設局が工夫した、新しい「リバー・ステージ」は、釣り場として、恋人たちの語らいの場、読書やウォーキングの休憩場としても最適です。この親水護岸を、会合や集合場所として、もっと多目的に活用したいものです。



■旭区内親水護岸配置図  
(資料:大阪市建設局東工営所)

城北川遊歩道は、樹木や並木が立ち並ぶ緑道です。

城北公園事務所が管理(旭・都島区)しています。山茶花・楓・寒椿…その数、合わせて820本(1.5m以上の樹木)。菫橋右岸の遊歩道には、樹齢数十年の梅檀や榦の木など銘木が、風を受けて毅然と立っています。旭区民センター横には、ソメイヨシノの桜小公園。香蘭橋から西中宮橋の川岸は、約90本の楓の木。



■城北川-旭区内樹木配置図 (城北公園事務所資料参考に作成)

とくに城北川左岸は、緑のトンネルが続いており、ウォーキングロードとして最適です。でも城北川は、旭区内に入ったとたんに青い空がなく、暗い気持ちになります。



■緑のトンネル-樹木が生い茂る遊歩道-右岸(左から順に…菫橋・東大宮橋・旭区民センター…附近で撮影)



■緑のトンネル-樹木が生い茂る遊歩道-左岸(左から順に香蘭橋・西大宮橋・新森小橋…附近で撮影)

阪神高速道路が上空を併走しているからです。走行中の自動車がドスンという衝撃音を響かせはじめて、すでに40年過ぎています。私たちの夢が浮かんでいるあの空は、どこへ消えたのでしょうか。